## 令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

	「限会社 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	ービス 代	表者 露木 昭	2彰	法人· 事業所	「運動と温泉と癒し」をコンセプトに、ご利用者様の健康と絵がを大切にする施設です。「体力がついた」「お話相手ができた」「皆となら運動できる」と感じていただけるよう、一人ひとりに寄り添った支援を心がけています。「通い・泊り・訪						
事業所名 (湯河原町)	気にヘと海川阜			<b>清</b> 洋	の特徴	問」のサービスを組み合わせることで、ご利用者様のニーズに柔軟に対応しています。						
出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民• 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援 センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計		
山川田郊				2人	1人	1人				4人		

					2人	1人		1人				4,	人
項目		前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果			意見		今回の改善計画				
A. 事業所自己評価の確認		初めてのためなし		初めてのためなし			・初期支援時にご利用者様の生活歴や趣味などの情報をもっと整理して伝えられると、より個別に合った支援ができるのではないか。 ・短期、長期を明確にし、スタッフ全員が共有することで支援の統一性が高まりそうである。			・利用開始時の情報共有を強化するため、事前の情報共有の場を設ける。 ・ご利用者様の目標を可視化し、スタッフ 全員が意識できる仕組みを作る。			
B. 事業所のしつ	らえ・環境	初めて	てのためなし		初めてのためなし			ご利用者様なっている。 ・設備の点材直し、長く安	ら着いた環境が整が安心して過ごせ 対安心して過ごせ 食や安全管理を定 でして利用できる が重要である。	お施設に 期的に見	・ご利用者様やご家加、より快適な空間へ ・定期的な設備点検 ・定期的な設備点検 設運営を維持する	づくりを進める	る
C. 事業所と地域	えのかかわり	初めて	てのためなし		初めてのためなし			関わり方をも	動に対して、事業だっと明確にすると 日来るのではない	地域との	・地域の行事や活動 め、具体的な取り組み ・スタッフが地域の活 を作り、地域とのつな	みを進める。 動に参加す	る機会
O. 地域に出向い らしを支えるほ		初めて	てのためなし		初めてのためなし			地域の支援 多様な支援 ・ご利用者は をより詳しく	が出来るのではな	すると、より さいか。 なでの関わり	・地域の支援制度を対際に活用できるよう情・ご利用者様のこれま詳しく記録し、支援に	青報を教諭す そでの生活に	ける。
E. 運営推進会請 取組み	義を活かした	初めて	てのためなし		初めてのためなし			見を事業所なっているな	様や家族、地域のの運営改善についる。 の運営改善についい。 の、会議の内容をいえ、生かせるようにいか。	なげる場に もっとスタッ	・会議の内容をスタッ策を実践する機会を		、改善
F.事業所の防災	炎•災害対策	初めて	てのためなし		初めてのためなし			防災くんれ、 用者様やご を深める機 か。 ・地域の防災		るが、ご利 有し、理解 のではない 緊急時の対	・防災、災害時の対応者様やご家族にも説える機会を増やす。 ・地域の防災計画と 応をスムーズに行える	明を行い、st 重携し、緊急	共に備